

男女共同参画 啓発活動

都留市男女共同参画推進委員会は、各地域の文化祭やフェスティバルなどで啓発活動を行っています。「防災」や「イクメン（子育てを楽しむ、自分自身も成長する男性）」、「ワーク・ライフ・バランス」など、毎年様々なテーマで寸劇を披露し、「男女共同参画」について、わかりやすく、楽しく伝えていきます。今年も各地域でパフォーマンスに伺う予定です。ぜひお気軽に声をかけてください。



■開地地域協働のまちづくり推進会総会での発表の様子

STOP DV ひとりで悩んでいませんか？

相手というと、怖いと感じたり緊張したりしていませんか。

暴力には、なぐる、物を投げつける、大声でどなる、無視し続ける、生活費を渡さない、交友関係を制限する、勝手に相手の電話・メールをチェックする、性的行為を強要する、避妊に協力しないなど、さまざまなものがあります。

暴力は、次第にエスカレートして、被害が深刻になることがあります。相手との関係を「つらい」「なにかおかしい」と感じていたら、一度ご相談ください。

山梨県配偶者暴力相談支援センター 女性相談所

☎055(254)8635

(年末年始を除く平日9:00～20:00)

男女共同参画推進センターぴゅあ総合

☎055(237)7830

(第2・4月曜、祝日の翌日、年末年始を除く毎日9:00～17:00)

市の相談窓口 福祉課

☎(46)5127

(年末年始を除く平日9:00～17:00)



山口るみ委員 「もう二度とすることはないだろうから」と、次男を出産して3年間育休を取りました。朝起きて家事をチャチャッとこなす。そして、お弁当を持って、次男の友達と私のママ友と遊んでいた幸せだった日々。その次男ももう小学2年生。困ったことに、宿題もせず遊びほうけています。怒りながら、ふと思いました。「あの3年間、私も毎日遊びほうけていたっけ。3年間のツケがまわってきたの？三つ子の魂、百までも…ってこのことかしら？」



志村邦治委員 高度経済成長期に就職した年代の私たちは、長時間労働をし、たくさん稼いで良い生活をするのが、美德とされてきました。私もその一人でした。今は町工場のオヤジになり、まだその習慣が抜けていません。楽しみと情性で耕作している田畑、仕事と生活のバランス、これから先も死ぬまでお世話になる妻や子供との関わり方を、活動を通じて学び、考えないといけないと強く思っています。



鈴木和恵委員 昭和20年生まれの67歳、小学生の頃に「女性が自立出来るように」と自主性を教えてくださった小学校の恩師、故山田先生が、私を前向きな生き方に歩ませてくれました。人との分かち合いの精神を大事にする事を日々の生活で学び、一人では何もできず、周りの人との関わりで生きている事を考えさせられました。住みやすい環境が人を育てる。これからも笑顔で明るく前向きに生きていこうと思います。



勝又房三委員 谷村地域協働のまちづくり推進会より参加させていただきました。趣味は、さつき盆栽、魚釣り。昨今、公共の場でも人々との関係において、思いやり、慎みの欠如を感じることはないでしょうか。私たち一人ひとりが、こうした本来の美德を心に刻み直し、人の温かさをより感じ合える世の中になるよう、推進委員会の先輩方のご指導をいただき務めさせていただきます。



猿田睦子委員 「男性を重んじること！」幼い頃、家庭で刻み込まれた記憶です。男女平等の社会変革は私の意識の変革にも繋がりました。今後も男女共同参画が根付き、未来へ繋がるためには、大人に限らず次代を担う子どもたちも含め、その理念を学ぶことが望ましいと思います。朝焼け小焼けだ 大漁だ 大羽鯛の大漁だ 浜は祭りのようだけど 海の中では何万の 鯛のとむらいするだろう(「大漁」金子みすず) 見えないものへの視点、捉えに感動。一員として、柔軟な視点で男女共同参画を推進していきたいと思っています。

今年度から都留市男女共同参画推進委員として活動します！

私たちは、今期新たに委嘱された第7期の委員5名です。顔を覚えていただき、市内などでお会いした際には、気軽に声をかけてください。